

放送大学愛媛学習センター公開シンポジウム

トクヴィルとアメリカ民主主義を考える

これまで所長公開ゼミで、バジョット『イギリス国制論』、トクヴィル『アメリカのデモクラシー』第1巻（上）を輪読しながら、バジョットの考える19世紀のイギリス国制や、若きトクヴィルが見たアメリカの民主主義について考えてきた。今はトマス・ペイン『人間の権利』を輪読している。

バジョットは選挙権のない労働者階級を統治するには国制の「尊厳的部分」である王室が必要だと主張するし、トクヴィルはアメリカ社会の特質として平等を重視するが、立法府による專制を防止する上で大統領の大きな権限が正当だとも言う。トクヴィルが生きていたら、トランプ大統領をどのように評価するのだろうか。

フランス憲法を研究する井口秀作先生と、イタリア史を移民の視点から研究する林孝洋先生による二つの講演を聞いて、批判的な観点からトクヴィルとアメリカ民主主義について考えてみたい。

愛媛学習センター所長 吉田正広



日 時：2026年2月28日（土）13：00～16：00

場 所：放送大学愛媛学習センター 4階 講義室1・2

主旨説明

吉田 正広（愛媛学習センター所長）
13：00～13：10

講演 日本の憲法学からみたトクヴィル

井口 秀作（愛媛大学法文学部教授）
13：10～14：10

講演 イタリア移民から見たアメリカ民主主義

林 孝洋（愛媛大学法文学部講師）
14：20～15：20

討論

15：30～16：00

- ・会場に直接来られる方は申し込み不要です。
- ・Zoomでの参加をご希望の方は、事前に愛媛学習センターにメールでお申し込みください。
アドレスをお知らせします。
- ・お車でお越しの方は愛媛大学立体駐車場をご利用できます。入出庫可能時間帯（12：30～13：00／16：00～16：30）

 放送大学 愛媛学習センター

愛媛県松山市文京町3番（愛媛大学内）
電話089-923-8544
Email : ehime-sc@ouj.ac.jp